

追 悼

名誉会員 渡 辺 義 介 君 を悼む



社団法人日本鉄鋼協会評議員、名誉会員故渡辺義介君の告別式に当り、本会は君の鉄鋼業界に貢献せられたる偉大なる功業を偲び洵に哀悼の念に堪えないところであります。

君は大正2年東京帝国大学経済学部卒、日滿鉄鋼、北支那製鉄、日本製鉄各社長、鉄鋼統制会々長等を歴任、現在まで八幡製鉄株式会社々長、日本鉄鋼連盟会長、経済団体連合会副会長等の職に在つて、戦前、戦時、戦後を通じ終始一貫我が国鉄鋼業の進歩発達に畢生の力を尽され、斯界に貢献するところまことに至大であつたのみならず、今後斯業運営の指導者として君に負う所又大なるものがあつたのでありますが、今溘焉として逝去せらる、真に痛恨の極みであります。

特に本会に対しましては多年に亘り評議員の任に就かれ、又評議員会の決議により名誉会員に推され今日に至つたのでありますが、その間本会発展のために多大なる尽力を賜りましたことは会員一同の深く感銘致しております。

惟うに我が国鉄鋼業の最近における急速なる発展は、八幡製鉄株式会社々長その他斯界幾多の要職に在つて運営の指導宜しきを得たる君の功績に外ならないと信ずるものでありますが、なお業界には幾多の難関が横わり容易に樂觀を許さざるものがあります。かゝる時に際し卓越したる斯界の権威者を喪つたことはわが鉄鋼界のために償うべからざる大損失でありまして、惜しみてもなおあまりあるところであります。

今や再び君の温容に接するの術なく、その指導を仰ぐに由なし、しかしながら六十有七才の君の尊き努力の生涯は必ずやその道を嗣ぐ者を導き後進を奮起せしめて君の高名を不滅ならしむるものと信ずるのであります。

茲に君の偉大なる功績を追憶するとともに哀悼の誠を捧げ以つて弔辞といたします。

昭和 31 年 1 月 12 日

社団法人 日 本 鉄 鋼 協 会